面談・コールご依頼はこちら

ソディック (6143)

足元のモメンタムは強固、今後の見通しのカギは需要の持続性と生産能力増強

2026 年 11 月 12 日

2026 年 12 月期 3Q 決算アップデート

株価: 1,440 円　時価総額: 789 億円

- **AI・データセンター向け需要が引き続き焦点** – ソディックの 2026 年 12 月期第 1～3 四半期決算は、AI・データセンター向け需要の持続と工作機械事業における予想を上回る販売増加により、前年同期比 141.6%増の営業利益を達成。これを踏まえて同社は、通期会社予想を再度上方修正した。生産性向上と価格改定を通じて収益性は引き続き向上しており、修正後通期会社予想から試算した第 4 四半期会社予想で営業利益率が 12.5%に達していることにも、それが反映されている。当社は会社予想の修正を受けて 2026 年 12 月期通期の売上高と営業利益の予想を修正し、放電加工機の着実な受注により業績ビジビリティは高いと考えている。需要が、AI・データセンター投資にやや依存している状況にはあるとみられるが、中長期的に需要の持続が期待できるとみている。



出所：ブルームバーグ

新たな中期目標の設定を予想

- **生産能力増強と業績の強靭性** – 旺盛な AI・データセンター関連需要は成長機会をもたらす一方、経営陣にとっては生産能力増強の規模と時期について重要な経営判断となる。さらなる生産能力強化は売上成長と市場シェア拡大を下支えする可能性がある一方で、これに伴い固定費の増加により、需要が減速した場合に業績への影響が大きくなる可能性がある。ソディックは中期経営計画に掲げた 2029 年 12 月期の目標を 2026 年 12 月期に前倒しで達成する見込みである。当社では今後、中期目標の見直しを行うと予想しており、その結果、成長投資と中長期の業績の強靭性との両立をどう図ろうとしているのかに注目している。
- **バリュエーション** –修正後の当社予想に基づくと、2027 年 12 月期当社予想 PER は 8.3 倍、同総還元利回りは 8.0%（総還元性向の前提は 70%）、2025 年 12 月期実績 PBR は 0.9 倍。

リターン

	YTD	1M	3M	12M
Abs (%)	+50.3	-16.6	-18.2	+53.2
Rel (%)	+30.1	-13.1	-14.0	+30.7

セクター

工作機械
機械

株式データ

株価（円）	1,440
時価総額（10 億円）	78.9
時価総額（100 万ドル）	494.2
52 週レンジ（円）	891-2,130
発行済株式数（100 万株）	55
日次平均出来高（100 万ドル）	7.5
浮動株（%）	81.0
外国人株式保有比率（%）	20.6
コード	6143
取引所	Tokyo Prime
純有利子負債/自己資本（倍）	N/A
FFO レバレッジ（倍）	5.3
ブルームバーグ 買い｜ホールド｜売り	0|1|0

出所：ブルームバーグ

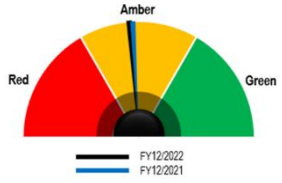
年度末	12/24	12/25	12/26E	12/27E	12/28E
売上高（10 億円）	73.67	80.57	101.43	110.59	118.02
営業利益（10 億円）	2.23	4.22	11.27	11.21	12.43
純利益（10 億円）	4.12	4.51	9.34	8.78	9.61
EPS（円）	81.06	89.19	184.64	173.64	189.89
1 株当たり配当（円）	29.00	29.00	35.00	36.00	37.00
売上高伸び率 (%)	+9.7	+9.4	+25.9	+9.0	+6.7
営業利益成長率 (%)	N/A	+89.4	+166.8	-0.5	+11.0
純利益成長率 (%)	N/A	+9.7	+106.9	-6.0	+9.4
EPS 成長率 (%)	N/A	+10.0	+107.0	-6.0	+9.4
PER（倍）	17.8	16.1	7.8	8.3	7.6
EV/EBITDA（倍）	14.2	10.1	4.1	4.0	3.7
EV/売上高（倍）	0.9	0.8	0.7	0.6	0.6
PBR（倍）	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8
ROE（%）	5.1	5.2	10.1	9.1	9.6
ROCE（%）	2.0	3.6	9.3	9.1	9.8
FCF 利回り（%）	8.7	6.2	20.9	14.5	14.5
配当利回り（%）	2.0	2.0	2.4	2.5	2.6
総還元利回り（%）	2.0	2.0	8.5	8.0	8.7

出所：会社データ、アストリス・アドバイザリー（推定）

事業概要

ソディックは工作機械メーカーで、放電加工機のグローバルな市場リーダー。金属 3D プリンタ、射出成形機、食品加工機を開発・製造している。

アストリスーサステナビリティ ESG レーティング



参考格付け	
MSCI	N/A
Sustainalytics	N/A
Refinitiv	N/A
S&P Global	32.0
Bloomberg	N/A

イベント予定日

2027 年 2 月：26 年 12 月期第 4 四半期決算

電話: +81 3 6868 8797
E メール: Corporateresearch@astrisadvisory.com

本レポートは同社から委託され、支払いを受けて作成されている。

直近の業績

2026 年 12 月期第 1～3 四半期決算

収益性が前年同期比で大幅改善

主要財務データ

(10 億円)	2025 年 12 月期 第 1~3 四半期	2026 年 12 月期 第 1~3 四半期	前年比伸び率 (%)
売上高	**56.35**	**71.75**	**+27.3**
売上総利益 (総損失)	19.99	27.52	+37.7
売上総利益率	***35.5***	***38.4***	
営業利益 (損失)	**3.02**	**7.29**	**+141.6**
営業利益率	***5.4***	***10.2***	
経常利益	2.92	8.26	+182.8
親会社株主に帰属する当期純利益	2.17	6.89	+217.4
為替レート:			
米ドル/円	148.08	158.67	+7.2
ユーロ/円	165.69	184.18	+11.2
中国人民元/円	20.50	23.23	+13.3
タイバーツ/円	4.47	4.89	+9.4

出所:会社データ

AI・データセンター向け需要が売上成長を牽引

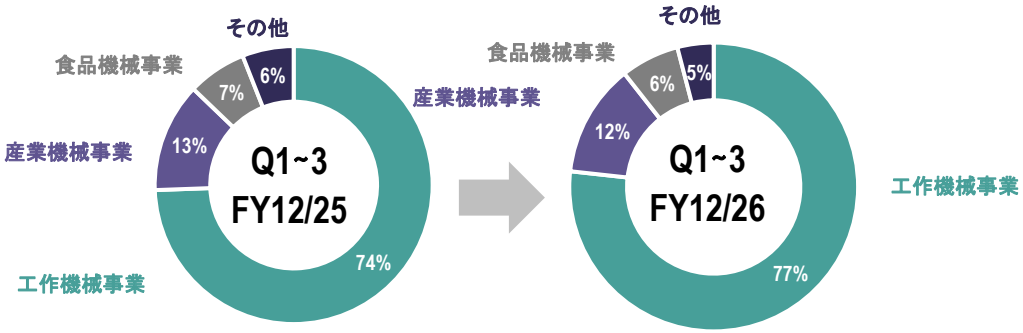
事業セグメント別データ(セグメント間取引消去前)

(10 億円)	2025 年 12 月期 第 1~3 四半期	2026 年 12 月期 第 1~3 四半期	前年比伸び率 (%)
売上高			
工作機械	41.62	55.65	+33.7
産業機械	7.19	8.36	+16.3
食品機械	4.04	4.31	+6.7
その他	3.50	3.44	-1.7
セグメント利益 (損失)			
工作機械	4.33	8.74	+101.6
産業機械	0.36	0.67	+82.9
食品機械	0.52	0.45	-14.0
その他	0.06	0.04	-35.1
セグメント利益率(%)			
工作機械	10.4	15.7	
産業機械	5.1	8.0	
食品機械	12.9	10.4	
その他	1.7	1.1	

出所:会社データ

工作機械事業が引き続き売上の大部分を占める

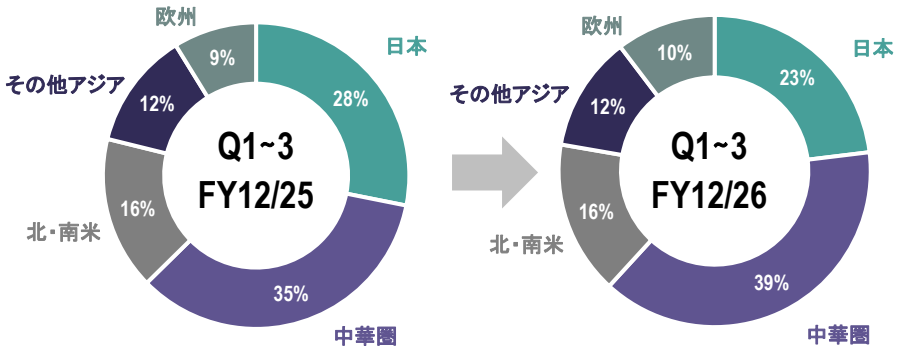
事業セグメント別売上高構成



出所:会社データ

地域別売上構成比は中華圏が最大

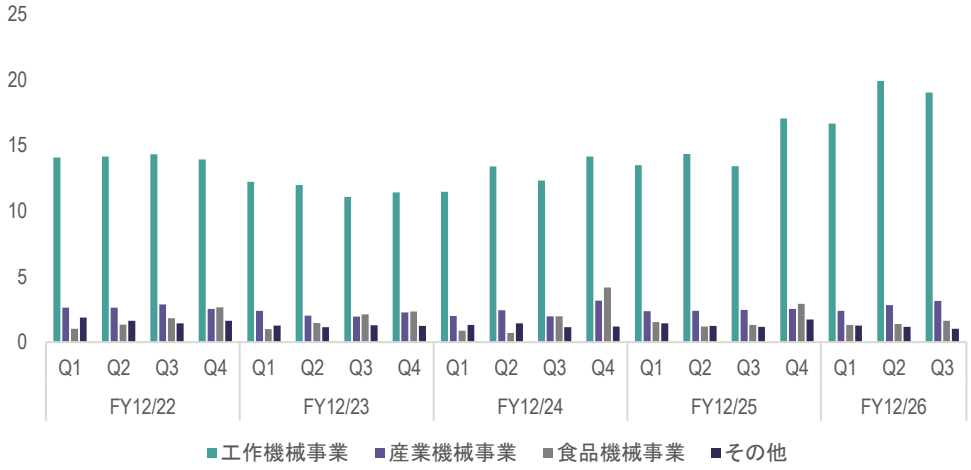
地域別売上高構成



出所:会社データ

工作機械事業が高水準の売上高を維持

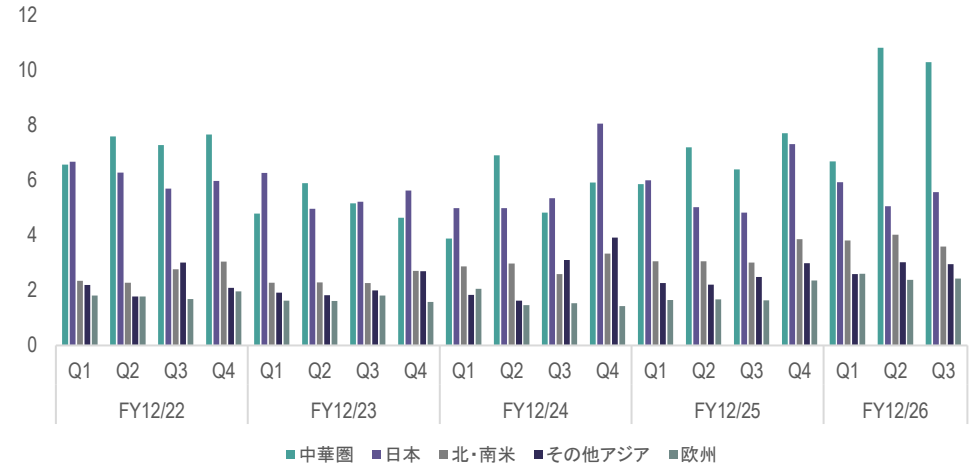
事業セグメント別売上高の四半期別推移(10 億円)



出所:会社データ

2026 年 12 月期第 2 四半期以降、中華圏の売上成長が顕著に

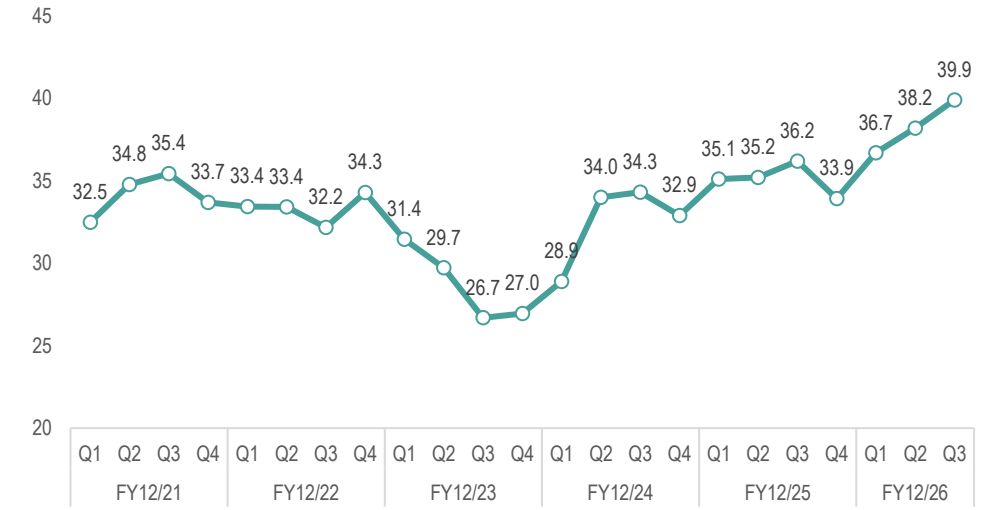
地域別売上高の四半期別推移(10 億円)



出所:会社データ

四半期売上総利益率は連続して過去最高を更新

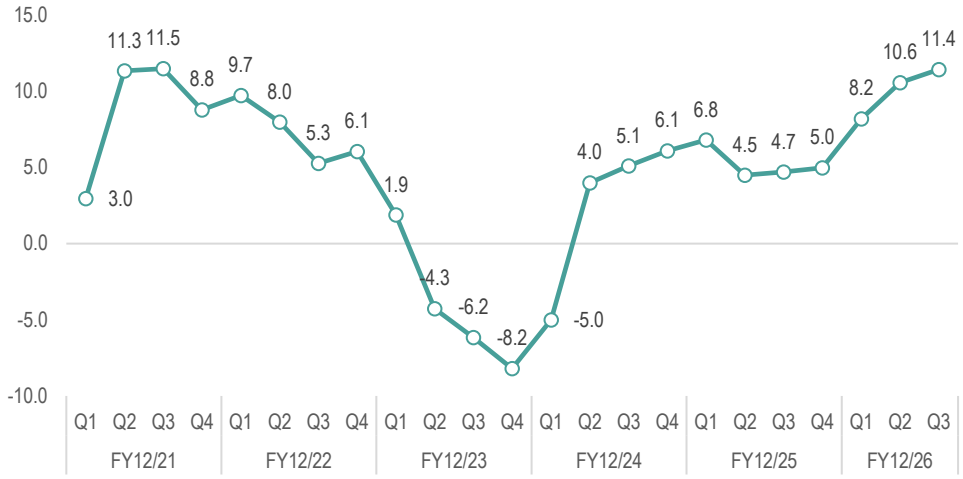
売上総利益率の四半期別推移(%)



出所:会社データ

営業利益率は中期目標の 10%を上回る水準を維持

営業利益率の四半期別推移(%)



出所:会社データ

決算ハイライト

ソディックの 2026 年 12 月期第 1～3 四半期決算は、第 3 四半期の売上総利益率、営業利益率ともに改善し収益性の向上が継続した。**このきわめて堅調な結果を受けて、同社は通期会社予想に 2 回目の上方修正を加えた。**売上総利益率は主に生産性向上と価格改定により第 3 四半期に 39.9%に達し、営業利益率は賞与引当金、運搬費、販売手数料の増加にもかかわらず、11.4%に上昇した。

通期会社予想の上方修正は、工作機械事業における予想以上に好調な放電加工機の販売を踏まえたものである。ソディックの製品は内製化率が高いため、営業レバレッジが働きやすい。

工作機械事業は、中華圏の需要が引き続き旺盛なことに加え、消耗品(ワイヤ電極)の需要も拡大している。産業機械事業は、データセンター向け光コネクタの需要好調により収益性が前年同期比で改善したが、自動車関連の需要は依然として低調だった。

食品機械事業は苦戦が続き、第1～3 四半期の営業利益は前年同期比 14%減となった。製麺設備の需要は国内、海外とも堅調だったが、無菌包装米飯製造装置の販売が海外市場の競争激化により引き続き前年同期を下回った。

バランスシートについては、中華圏の顧客からの放電加工機の前受金増加により、現預金が 2025 年 12 月期末の 450.6 億円から 2026 年 12 月期第 3 四半期末には 514.8 億円に増加した。この増加は契約負債の増加にも反映されている。

放電加工機の受注見通しは引き続き堅調

2026 年 12 月期第 3 四半期の放電加工機受注台数は前年同期比 29.6%増加した(前四半期比では 4.9%減)。

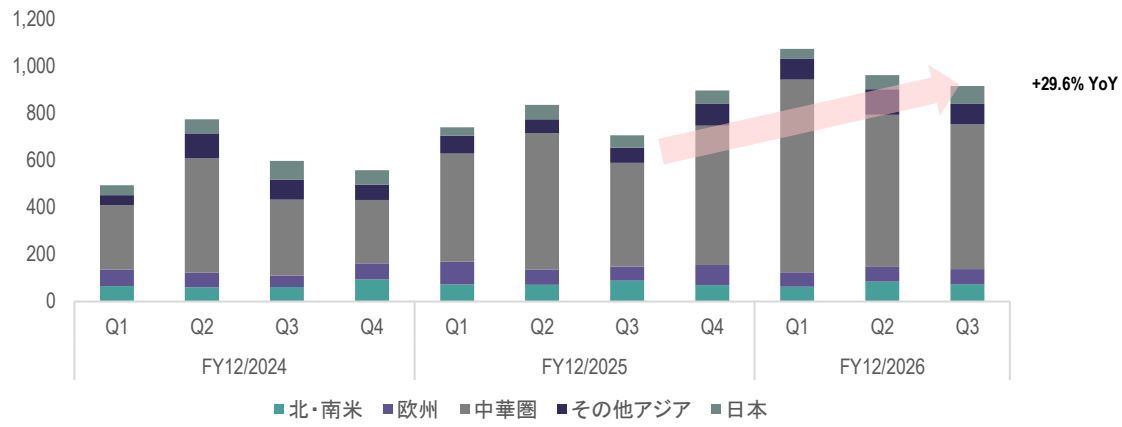
当社は、ソディックがデータセンターのコアインフラ増設や AI 計算資源への長期投資の持続による構造的需要拡大の恩恵を受ける優位なポジションにあると引き続き考えている。

しかし、今後の業績の見通しについては、以下の点に留意する必要がある。

- 現時点では、大手企業の間で AI データセンターへの設備投資から撤退する動きが広がっている兆候は見られない。しかし、需要は今後も持続しうるが、投資にばらつきが生じる可能性や、需要のモメンタムが前年比で減速する可能性はあると思われる。
- 納入までのリードタイムは、(1)ソディックの生産効率の改善や増強の進捗、(2)部品調達の遅れなどが、業績の見通しに影響が出るおそれがある。しかし、足元の旺盛な需要を取り込むための生産能力増強は、固定費の増加を伴うため、需要低下局面における収益への影響にも留意する必要がある。経営陣は、成長機会の取り込みと事業リスクのバランスを図ることが求められる。
- 中華圏の需要は旺盛で、総じて順調に推移しているが、短期的な視界は必ずしも良好ではなく、需要に変動が生じる可能性がある。
- 当社の全体的な印象としては、現在放電加工機の受注を牽引しているのはAI・データセンター関連の需要で、その他の分野の寄与は依然として限定的である。したがって、構造的な成長テーマへのエクスポージャーは得られているが、需要が特定分野に集中している状況である。幅広い最終需要分野で回復すれば、業績の強靭性がさらに高まるだろう。

着実な需要モメンタム

放電加工機受注台数の四半期別推移



出所:会社データ

2026 年 12 月期通期会社予想の修正

ソディックは 2026 年 12 月期通期業績会社予想に 2 回目の上方修正を加えた。主な修正内容は以下のとおり。

- 工作機械 – 売上高を前回予想から 5.4%引き上げるとともに、セグメント利益率を 15.1%から 16.3%へ大幅上方修正。これは工場稼働率改善と営業レバレッジ拡大を反映したものとみられる。
- 産業機械 – 売上高を前回予想比 8.7%上方修正するとともに、セグメント利益率を 7.0%から 10.4%へ大幅上方修正。
- 食品機械 – 売上高を下方修正し、事業環境が厳しくなっていることを示唆。
- 全社共通調整額 – 人件費および IT システム費用の増加を反映して小幅上方修正。

工作機械セグメントが全社利益率の前年比改善を牽引

2026 年 12 月期通期業績会社予想

(10 億円)	25/12 期通期実績	*26/12 期通期会社予想(旧 1)	26/12 期通期会社予想(旧 2)	26/12 期通期会社予想(旧 3)	26/12 期通期会社予想(新)	前年比伸び率(%)
売上高	**80.57**	**81.50**	**88.50**	**97.00**	**101.40**	**+25.9**
工作機械	59.15	55.60	64.70	72.40	76.30	+29.0
産業機械	9.73	11.70	10.50	11.50	12.50	+28.5
食品機械	6.95	8.60	7.70	7.90	7.40	+6.5
その他	4.74	5.60	5.60	5.20	5.20	+9.7
売上総利益 (総損失)	28.21	-	-	-	-	
売上総利益率	***35.0***	**-**	**-**	**-**	**-**	
営業利益 (損失)	**4.22**	**5.30**	**5.50**	**9.20**	**11.00**	**+160.4**
営業利益率(%)	***5.2***	***6.5***	***6.2***	***9.5***	***10.8***	
工作機械	5.68	5.60	6.30	10.90	12.40	+118.3
産業機械	0.52	0.90	0.80	0.80	1.30	+150.0
食品機械	0.98	1.00	1.00	0.80	0.80	-18.4
その他	0.10	0.60	0.40	0.10	0.10	-
調整額	(3.06)	(2.80)	(3.00)	(3.40)	(3.60)	N/A
セグメント利益率(%)						
工作機械	*9.6*	*10.1*	*9.7*	*15.1*	*16.3*	
産業機械	*5.3*	*7.7*	*7.6*	*7.0*	*10.4*	
食品機械	*14.1*	*11.6*	*13.0*	*10.1*	*10.8*	
その他	*2.2*	*10.7*	*7.1*	*1.9*	*1.9*	
経常利益	5.23	5.30	6.00	9.90	12.00	+129.4
親会社株主に帰属する当期純利益	4.51	4.00	5.10	7.40	9.50	+110.5
ROE (%)	**5.2**	**-**	**5.6**	**-**	**-**	
為替レート:						
米ドル/円	149.61	150.00	155.00	156.00	158.00	+5.6
ユーロ/円	169.19	165.00	180.00	182.00	183.00	+8.2
中国人民元/円	20.79	21.00	22.00	23.20	23.40	+12.6
タイバーツ/円	4.56	4.50	5.00	4.90	4.80	+5.3

出所:会社データ
注: *2025 年 2 月に公表。

修正後の 2026 年 12 月期通期会社予想は、2029 年 12 月期の売上高 1,000 億円、営業利益 100 億円という現中期経営計画の最終目標を上回っている。したがって、ソディックは目標の見直しを行うと当社はみている。

2026 年 12 月期通期会社予想に基づいて試算した第 4 四半期会社予想では、営業利益率は 12.5%に達する見込みである。工作機械セグメントが堅調な需要モメンタムを維持していることに加え、生産性向上や前年比での価格改定効果もあり、この予想は達成可能と思われる。

修正後の 2026 年 12 月期通期会社予想に基づき試算した第 4 四半期会社予想では営業利益率が上昇する見込み

2026 年 12 月期通期会社予想に基づき試算した第 4 四半期会社予想

(10 億円)	2026 年 12 月期 第 1-3 四半期	前年比伸び率 (%)	2026 年 12 月期通期予想と実績から試算した第 4 四半期会社予想	前年比 (%)
売上高	**71.75**	**+27.3**	**29.65**	**+22.4**
営業利益	**7.29**	**+141.6**	**3.71**	**+207.6**
営業利益率 (%)	*10.2*		*12.5*	
経常利益	8.26	+182.8	3.74	+61.9
純利益	6.89	+217.4	2.61	+11.3

出所：会社データ

年間 DPS については、累進配当方針のもとで 35 円に維持している。現中期経営計画期間（2026 年 12 月期～2029 年 12 月期）の総還元性向を 70%以上とする方針にも変更はない。

当社の業績予想

2026 年 12 月期の売上高と営業利益の当社予想を、会社予想に合わせて修正した。2027 年 12 月期と 2028 年 12 月期の当社予想に変更はない。経営陣は、特に営業利益率レベルで継続的な収益性向上を目指しているが、持続的な利益率改善の実績が乏しいため、当社の営業利益率予想は 10%強にとどめている。今後の販管費増加は、エンジニアの新規採用に関連した人件費が主になる見通しである。

2026 年 12 月期当社予想を上方修正

修正後の 2026 年 12 月期通期会社予想とアストリス・アドバイザリーの業績予想

年度末	26/12 期 会社予想(修正後)	26/12 期 当社予想 (旧)	26/12 期 当社予想 (新)	27/12 期 当社予想	28/12 期 当社予想
売上高 (10 億円)					
工作機械	76.30	72.92	76.41	83.85	89.72
前年比伸び率 (%)	*+29.0*	*+25.0*	*+31.0*	*+15.0*	*+7.0*
産業機械	12.50	11.68	12.16	12.84	13.74
前年比伸び率 (%)	*+28.5*	*+20.0*	*+25.0*	*+10.0*	*+7.0*
食品機械	7.40	7.72	7.30	8.33	9.00
前年比伸び率 (%)	*+6.5*	*+11.0*	*+5.0*	*+8.0*	*+8.0*
その他	5.20	5.56	5.56	5.56	5.56
前年比伸び率 (%)	*+9.7*	-	-	-	-
総売上高 (10 億円)	**101.40**	**97.86**	**101.43**	**110.59**	**118.02**
前年比伸び率 (%)	*+25.9*	*+21.5*	*+25.9*	*+9.0*	*+6.7*
営業利益 (10 億円)	**11.00**	**9.33**	**11.27**	**11.21**	**12.43**
営業利益率 (%)	10.8	9.5	11.1	10.1	10.5
前年比伸び率	*+160.4*	*+120.9*	*+166.8*	*-0.5*	*+11.0*
EBITDA (10 億円)	-	**14.22**	**16.34**	**16.74**	**18.34**
EBITDA 利益率 (%)	-	14.5	16.1	15.1	15.5
経常利益 (10 億円)	**12.00**	**10.03**	**11.97**	**11.40**	**12.63**
前年比伸び率 (%)	*+129.4*	*+91.8*	*+128.9*	*-4.7*	*+10.8*
当期純利益 (10 億円)	**9.50**	**7.83**	**9.34**	**8.78**	**9.61**
前年比伸び率 (%)	*+110.5*	*+73.5*	*+106.9*	*-6.0*	*+9.4*
FCF (10 億円)	-	**14.52**	**16.51**	**11.44**	**11.48**
FCF 利益率 (%)	-	14.8	16.3	10.3	9.7
FCF コンバージョン(%)	-	144.7	137.9	100.3	90.9
FCF 利回り (%)	-	**18.4**	**20.9**	**14.5**	**14.5**
為替レート:					
米ドル/円	158.00				
前年同期比 (%)	+5.6				
ユーロ/円	183.00				
前年同期比 (%)	+8.2				
中国人民元/円	23.40				
前年同期比 (%)	+12.6				
タイバーツ/円	4.80				
前年同期比 (%)	+5.3				

出所:会社データ, アストリス・アドバイザリー
注:FCF コンバージョンは FCF/税引前利益

会社概要

概要

放電加工機(EDM)の市場リーダー

1976 年に創業者の古川利彦氏が設立したソディックは、放電加工機の先駆者であり、世界的なリーダーである。EDM は、自動車、スマートフォン、航空宇宙、医療などの分野における精密部品や小型化に対する需要を背景に、金型製造や部品加工に用いられる加工機である。放電加工は、機械による力ではなく電気による放電の熱エネルギーを使って加工対象物から材料を除去する加工方法である。フライス加工や回転などの機械加工では、鋭い内角や特に深い溝など、望ましい切削ができない場合や機械加工が困難な材料に、EDM がよく使用される。

精密マシニングセンタや金属 3D プリンタ、レーザー加工機とともに、射出成形機や食品加工機もソディックの主力製品である。

同社は 1986 年に東京証券取引所に上場した後、1980 年代前半に欧米へ進出し、1994 年には他社に先駆けて中華圏にも進出するなど、グローバルに事業を展開してきた。同社のグローバルネットワークは、主にアジア地域に集中し、日本、中国、タイに生産拠点も置いている。

持続的な成長と企業価値の向上に注力

ソディックは、顧客のモノづくりにおける課題を解決するための**創造力と技術力を強みに**、価格競争ではなく、差別化された付加価値型ソリューションの提供によって競争力を築いてきた。しかし、経営陣は、**持続的な成長を実現し、中長期的な企業価値を高めるためには、広範な事業変革が必要である**と考え、古川健一現会長のもと、2020 年 10 月に「変革準備室」を設置した。長期的な成長戦略を実現するためには、**従来の「機能別」組織から「事業別」組織へと転換する必要があった**。

事業別組織への変更

この変革により、機能最適な管理体制から事業全体最適を実現する、製造、販売、サービスの一気通貫の事業管理体制を構築した。競争に勝つため、「機械の単体販売」から、お客様中心のソリューションとサービス事業の進化に注力することにシフトした。この変革には約 2 年間を要したが、2022 年 1 月から新たな体制が本格的に稼働した。

カスタマーサクセスを目指す

経営陣は変革に意欲的に取り組んでいる。3 つの変革への取り組み、ガバナンス、働き方改革が進行中である。

変革に向けた経営陣の取り組み

- **価値創造へのシフト** – 顧客データを収集し、「市場志向」の製品開発を推進するためのデジタルトランスフォーメーション(DX)の採用。
- **部門横断的な方針** – 複数の事業部門にわたる重要な問題を統合し、緊密な連携と業務の最適化を実現。
- **事業評価** – ハードウェアの売上台数やサービス契約数に基づく従来の評価指標から、企業の成長に合わせた、財務分析に基づく KPI を設定。
- **ガバナンス** – 取締役会の経営執行業務と監督業務を明確に分離。
- **働き方改革** –2022 年に**「ソディック健康経営宣言」**を制定し、従業員の心身の健康を最優先事項とし、前向きな職場環境を整備。

社史の概要

年月	詳細
1976 年 8 月	創業者の古川利彦氏が同社を設立
1986 年 2 月	**東京証券取引所第二部に上場**
1988 年 11 月	タイに初の海外生産拠点を設立
2007 年 3 月	食品機械事業に多角化
2015 年 3 月	東京証券取引所第一部に上場
2018 年 3 月	**古川健一氏の代表取締役社長就任**
2020 年 10 月	**「変革準備室」の設置**
2022 年 1 月	**企業変革に伴い、工作機械事業本部新設**
2022 年 4 月	東京証券取引所のプライム区分に移管
2025 年 8 月	**アドバンテッジパートナーズとの事業提携及び資金調達**

出所：会社データ

JGAAP に基づく要約財務諸表

損益計算書 (10 億円)	期 12/24	期 12/25	期 12/26E	期 12/27E	期 12/28E
売上高	**73.67**	**80.57**	**101.43**	**110.59**	**118.02**
売上原価	49.60	52.37	62.89	69.12	73.76
売上総利益	**24.07**	**28.21**	**38.54**	**41.47**	**44.26**
売上総利益率(%)	32.7	35.0	38.0	37.5	37.5
営業利益	**2.23**	**4.22**	**11.27**	**11.21**	**12.43**
営業利益率(%)	3.0	5.2	11.1	10.1	10.5
営業外収益	2.18	1.82	1.50	1.00	1.00
営業外費用	(0.78)	(0.82)	(0.80)	(0.81)	(0.80)
経常利益	**3.63**	**5.23**	**11.97**	**11.40**	**12.63**
税引前当期純利益	5.02	5.79	11.97	11.40	12.63
法人税等	(0.92)	(1.28)	(2.63)	(2.62)	(3.03)
実効税率(%)	25.2	24.5	22.0	23.0	24.0
当期純利益	**4.11**	**4.51**	**9.33**	**8.78**	**9.60**
非支配株主に帰属する四半期純利益	(0.01)	(0.01)	(0.01)	(0.01)	(0.01)
親会社株主に帰属する四半期純利益	**4.12**	**4.51**	**9.34**	**8.78**	**9.61**
売上高前年比伸び率(%)	+9.7	+9.4	+25.9	+9.0	+6.7
営業利益前年比伸び率(%)	N/A	+89.4	+166.8	-0.5	+11.0
経常利益前年比伸び率(%)	N/A	+44.2	+128.9	-4.7	+10.8
税引前当期純利益前年比伸び率(%)	N/A	+141.4	+106.8	-4.7	+10.8
当期純利益前年比伸び率(%)	N/A	+9.7	+106.9	-6.0	+9.4

キャッシュフロー計算書 (10 億円)	期 12/24	期 12/25	期 12/26E	期 12/27E	期 12/28E
税引前当期純利益	**5.02**	**5.79**	**11.97**	**11.40**	**12.63**
減価償却費	3.71	3.67	5.07	5.53	5.90
その他の非現金項目	2.78	(0.56)	9.90	2.85	2.12
運転資金の増減	(0.48)	(0.10)	(0.29)	(0.20)	(0.24)
法人税等支払額	(1.07)	(1.64)	(2.63)	(2.62)	(3.03)
営業活動によるキャッシュフロー	**9.97**	**7.15**	**24.01**	**16.96**	**17.38**
設備投資	(3.13)	(2.29)	(7.51)	(5.53)	(5.90)
投資有価証券	(0.23)	(2.76)	(2.76)	(2.76)	(2.76)
その他の投資活動によるキャッシュフロー	1.72	1.10	1.41	1.25	1.33
投資活動によるキャッシュフロー	**(1.63)**	**(3.96)**	**(8.86)**	**(7.04)**	**(7.33)**
配当金支払額	(1.47)	(1.47)	(1.47)	(1.77)	(1.82)
社債発行による収入(償還による支出)	0.82	(0.99)	(0.99)	(0.99)	(0.99)
株式発行による収入(自社株買い)	(0.18)	-	(4.77)	(4.33)	(4.85)
その他	(0.21)	(0.02)	(0.02)	(0.02)	(0.02)
財務活動によるキャッシュフロー	**(1.04)**	**(2.48)**	**(7.25)**	**(7.12)**	**(7.69)**
為替影響	1.97	1.46	1.72	1.59	1.65
ネットキャッシュフロー	**9.26**	**2.17**	**9.62**	**4.40**	**4.01**
フリーキャッシュフロー(FCF)	**6.84**	**4.86**	**16.51**	**11.44**	**11.48**
EBITDA	**4.73**	**6.68**	**16.34**	**16.74**	**18.34**
EBITDA 利益率(%)	6.4	8.3	16.1	15.1	15.5
FCF マージン(%)	9.3	6.0	16.3	10.3	9.7
FCF コンバージョン(%)	136.2	83.9	137.9	100.3	90.9
設備投資/売上高(%)	4.2	2.8	7.4	5.0	5.0
設備投資/減価償却(%)	84.3	62.5	148.0	100.0	100.0
営業 CF マージン(%)	13.5	8.9	23.7	15.3	14.7

貸借対照表 (10 億円)	期 12/24	期 12/25	期 12/26E	期 12/27E	期 12/28E
現金及び預金	47.76	45.06	54.68	59.08	63.09
有価証券	-	4.00	4.00	4.00	4.00
売掛金	19.19	22.20	17.27	17.27	17.27
棚卸資産	31.62	33.39	32.05	32.05	32.05
その他	2.95	3.55	3.27	3.27	3.27
流動資産	**101.52**	**108.21**	**111.27**	**115.67**	**119.68**
有形固定資産合計	32.24	32.20	35.16	36.26	37.44
のれん	0.71	3.51	3.51	3.51	3.51
無形固定資産	1.51	1.97	2.46	2.46	2.46
投資有価証券	6.66	6.34	6.34	6.34	6.34
その他	2.36	3.47	3.47	3.47	3.47
固定資産合計	**43.47**	**47.49**	**50.93**	**52.04**	**53.22**
資産合計	**144.99**	**155.69**	**162.20**	**167.71**	**172.90**
短期借入金	13.33	11.68	12.33	12.33	12.33
買掛金	11.61	11.90	14.47	15.91	16.97
その他	9.49	14.17	14.29	15.71	16.76
流動負債合計	**34.44**	**37.75**	**41.09**	**43.94**	**46.06**
長期借入金	24.12	24.94	23.94	22.95	21.96
その他	2.00	2.42	2.42	2.42	2.42
固定負債	26.13	27.36	26.36	25.37	24.38
株主資本合計	**84.38**	**90.52**	**94.69**	**98.34**	**102.40**
非支配株主持分	0.05	0.07	0.06	0.07	0.06
純資産合計	**84.43**	**90.59**	**94.76**	**98.40**	**102.46**
負債純資産合計	**144.99**	**155.69**	**162.20**	**167.71**	**172.90**

主要指標	期 12/24	期 12/25	期 12/26E	期 12/27E	期 12/28E
収益性					
売上総利益率(%)	32.7	35.0	38.0	37.5	37.5
営業利益率(%)	3.0	5.2	11.1	10.1	10.5
当期純利益率(%)	5.6	5.6	9.2	7.9	8.1
ROA(%)	2.9	3.0	5.9	5.3	5.6
ROE(%)	5.1	5.2	10.1	9.1	9.6
ROCE(%)	2.0	3.6	9.3	9.1	9.8
ROIC(%)	1.4	2.6	6.8	6.5	7.0
流動性					
流動比率(倍)	2.9	2.9	2.7	2.6	2.6
クイック比率(倍)	2.0	2.0	1.9	1.9	1.9
負債比率					
D/E レシオ(倍)	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3
ネット D/E レシオ(倍)	net cash	net cash	net cash	net cash	net cash
自己資本比率(%)	58.2	58.1	58.4	58.6	59.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	5.3	10.0	22.2	22.7	25.9
ネットデット/EBITDA (倍)	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
バリュエーション					
EPS(公表値)(円)	81.06	89.19	184.64	173.64	189.89
PER(倍)	**17.8**	**16.1**	**7.8**	**8.3**	**7.6**
希薄化後 PER(倍)	**21.3**	**19.3**	**9.3**	**9.9**	**9.1**
DPS (円)	29.0	29.0	35.0	36.0	37.0
配当性向(%)	35.8	32.5	19.0	20.7	19.5
配当利回り(%)	**2.0**	**2.0**	**2.4**	**2.5**	**2.6**
総還元利回り(%)	**2.0**	**2.0**	**8.5**	**8.0**	**8.7**
FCF 利回り(%)	**8.7**	**6.2**	**20.9**	**14.5**	**14.5**
希薄化後 FCF 利回り(%)	**7.2**	**5.1**	**17.5**	**12.1**	**12.2**
PBR(倍)	**0.9**	**0.9**	**0.8**	**0.8**	**0.8**
EV/売上高倍率(倍)	0.9	0.8	0.7	0.6	0.6
EV/EBITDA 倍率(倍)	14.2	10.1	4.1	4.0	3.7
EV/EBIT 倍率(倍)	30.1	15.9	6.0	6.0	5.4
EV/FCF 倍率(倍)	9.8	13.8	4.1	5.9	5.9

出所:会社データ、アストリス・アドバイザリー(推定)

免責事項

本レポートは、アストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社が作成したものです本レポートは、アストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社が信頼できると考える公開情報源から入手した情報に基づいていますが、独自検証は行っていず、その正確性や完全性について保証、表明、保証をするものではありません本レポートは、当該企業について述言及すべき全事項を記載したものではなく、また、記載を試みるものでもありませんここに記載された意見は、本レポート作成時点におけるアストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社の判断を反映したものであり、予告なく変更される場合があります本レポートに記載されている将来の見通しに関する情報または記述には、仮定、今後の業績予測、未確定な金額見積もりなどに基づく情報が含まれているため、既知および未知のリスク、不確実性および、このテーマに関する実際の結果、業績または成果が現在の予想とは大きく異なる可能性をもたらすその他要因が含まれています

本レポートは概説として作成されたものであり、特定の金融商品または戦略を個人的に推奨するものではなく、また個人的な投資アドバイスを構成するものでもありません

アナリストは、(ⅰ)本レポートで表明する見解は、本レポートの対象である企業および証券に関する当該リサーチアナリストの個人的見解を正確に反映していること、(ⅱ)当該リサーチアナリストの報酬のいかなる部分も、直接的にも間接的にも当該リサーチアナリストが本レポートで述べた見解に過去、現在、未来を通して関連しないことをここに証明します

本レポートは、日本法に基づき設立され、日本の金融庁の監督下にあるアストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社により作成されました現地当局による規制範囲に関する詳細をご要望の場合は、弊社から入手可能です

利益相反

本レポートは、当該企業が委託して費用を負担したものであり、MiFID Ⅱ で定義される許容可能な軽微な非金銭的利益に該当すると判断されるものです

読者は、アストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社が、現在、もしくは今後 3 ヶ月以内およびその後に、当該企業に対して IR/コーポレート・アドバイザリーなどのサービスを提供する、または提供することを求める可能性があることを前提とする必要があります

記載金融証券への投資:アストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社は、取締役、役員、従業員およびサービスプロバイダーの個人的な取引について制限的な方針をとっていますアストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社は、投資業務を行っておらず、本レポート記載の金融証券は一切保有していません

責任制限

アストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社は、本レポートに基づき投資家が行った投資、売却、保有の決定に関して、いかなる責任も負わないものとしますアストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社は、本レポートの情報に起因する直接的、間接的、偶発的、特別、または結果的損害(予見可能か否かを問わず)に対して、一切の責任を負わないものとします

Copyright 2026 Astris Advisory Japan K.K. All rights reserved.

全著作権所有無断転載禁